

剪定枝資源化事業の見直しについて

1 町田市剪定枝資源化センターの剪定枝たい肥のニーズの減少

町田市は剪定枝資源化事業を 1998 年に開始しました。処理能力 5 トンの施設で剪定枝たい肥を製造していましたが、農家のニーズに追いつかず、小野路町に処理能力 10 トン（年間 3,000 トン）の町田市剪定枝資源化センターを整備しました。下図は、2010 年から 15 年分の剪定枝の搬入実績と剪定枝たい肥の利用量（ニーズ）を重ね合わせています。事業開始当初から、剪定枝の搬入量は処理能力を下回っていましたが、昨年度は処理能力の 3 分の 1 程度にまで落ち込んでいます。また、剪定枝たい肥のニーズもピーク時の半分まで落ち込んでいます。この原因等を調査し、廃棄物として出される剪定枝の資源化事業の貢献度を調査しました。

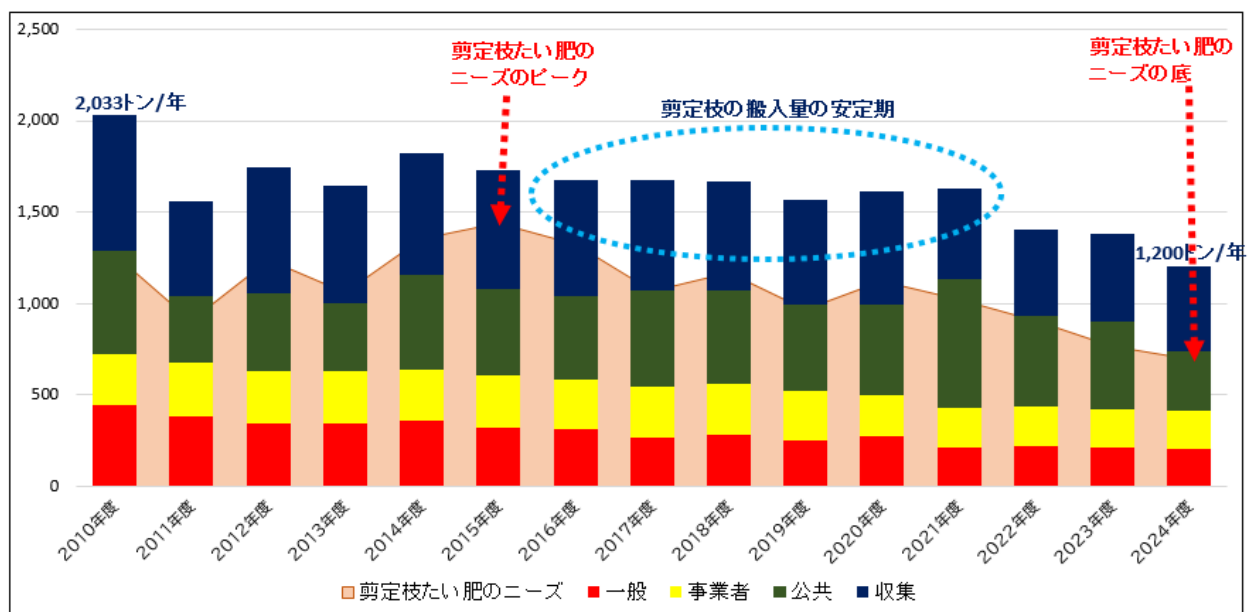


図1 剪定枝搬入量と剪定枝たい肥搬出量の経年変化

2 利用者アンケート結果(速報)

アンケートは全 5 種類実施しており、結果は集計中ですが、傾向をご報告します。
(2025年8月上旬時点の集計)

(1) 一般 搬入アンケート【表1の②より】

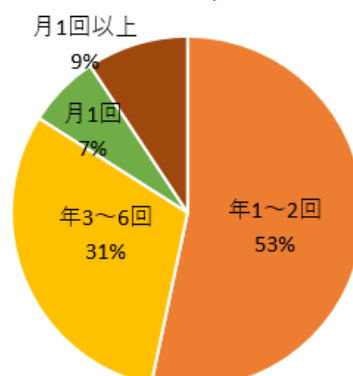
質問:お持込みの頻度を教えてください

- 回答:1. 年に1～2 回
2. 年に3～6 回
3. 月 1 回
4. 月 1 回以上

調査対象		農家	一般	事業者 (シルバー人材)	公共
調査時期		8月	6～9月	6月	6月
搬入	アンケート 番号	①ー1	②	③	
	搬入重量の 割合	17%	18%	27%	
搬出 (たい肥 利用)	アンケート 番号	①ー2	④		⑤
	搬出重量の 割合	38%	14%		5%

表1 アンケートの種類と調査対象の搬出入割合

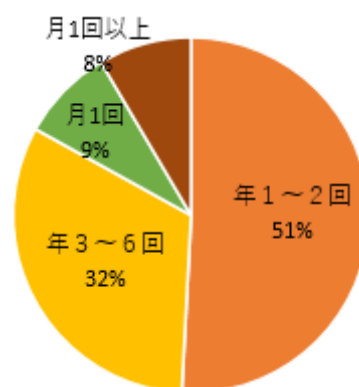
(搬出入重量の割合は 2024 年度実績)



(2)一般 搬出(たい肥利用)アンケート【表1の④より】

質問:剪定枝たい肥の購入の頻度を教えてください。

- 回答:1. 年に1～2回
2. 年に3～6回
3. 月1回
4. 月1回以上



3 町田市剪定枝資源化事業の見直しの検討について

アンケート結果を踏まえて、町田市の剪定枝資源化事業の課題の洗い出しと対策の検討を行い、次回の廃棄物減量等推進審議会にてご報告いたします。

剪定枝資源化事業見直しのスケジュール概要(予定)

年月	事項
2025年5月	廃棄物減量等推進審議会に概要ご説明
2025年5月 ～2026年2月	剪定枝資源化事業検討委員会開催(全5回開催) (5/13、7/30、10/9(予定)、12月、2月)
～2025年9月6日	利用者アンケートの実施・結果の整理
2025年 秋	廃棄物減量等推進審議会に検討状況ご報告(中間報告)
2025年度中	剪定枝資源化事業の方針決定